

PQA事業

品質保証のFirst-to-Call-Companyを目指し、 イノベーションと構造改革を加速する

食品・医薬品企業は、長引くコロナ禍においても常に安全で安心できる製品を安定して供給することを使命としています。必要なものだけを無駄なく生産し自然環境とのバランスを維持しながら消費していく社会の実現が急務となる中、食品・医薬品企業は品質と生産性の向上を通じて省エネルギーや廃棄ロス低減に精力的に取り組んでいます。

アンリツのPQA事業は、世界各地のお客さまの声を直にお聴きしながら、ご要望にマッチする商品とサービスを迅速にご提供する体制を充実させてきました。引き続きグローバル企業への変革に向けたイノベーションと構造改革を加速して、世界中の人々が安全・安心を享受できる持続可能な社会の実現に貢献していきます。

事業領域

PQA事業では、世界の食品・医薬品市場に向けて品質検査機器や品質管理システムなどの開発、製造、販売、保守サービスを提供しています。

“「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。”のグループ経営ビジョンのもと、「世界中のお客さまから最も信頼される品質保証のFirst-to-Call-Companyになる」ことを目指しています。強みであるインラインでの品質検査技術に人工知能やIoTなどの先端技術や革新的なサービスを掛け合わせ、お客さまの品質保証活動をトータルにサポートするソリューションの創造に取り組んでいます。

食品製造の分野で培ってきた「品質保証」の技術とノウハウを、医薬品製造の分野に展開して医薬品市場をPQA事業の第二の柱とすることを目指します。

市場環境

2021年度の食品・医薬品市場では、度重なる経済活動の停滞によって先行きの不透明感が増したことから、設備投資に慎重になるお客さまが一部で見受けられました。

取締役 常務執行役員
PQA事業グループプレジデント
新美 眞澄



日本市場では新型コロナウイルスの感染が拡大するたびに回復途上にあった消費にブレーキがかかる状況でした。食品製造の現場では人手不足と生産コストの上昇が深刻化しており、生産の安定化と効率向上が最優先の課題となっています。

大半の国々がwithコロナに舵を切った欧米では、経済活動は正常化に向かっており、大手食品企業が活発に設備投資を行い始めました。一方で急速な経済の再スタートにより、人手不足や人件費の急上昇に加えてエネルギーや食品原材料の高騰が問題となっています。

中国市場では冷凍食品や食肉市場を中心に安定した需要が続きました。3月末の上海ロックダウンにより、短期的に企業活動が停滞し市民生活にも大きな影響が出ましたが、今年後半以降は、平時に戻っていくと思われます。ASEAN諸国やインドなどのアジア市場においても観光需要の回復により土産菓子や外食などを中心に食品市場は回復しつつあります。

このように地域や市場によって状況の違いはありますが、総じて2022年度は品質検査機器への設備投資もコロナ禍前の水準に回復していく見込みです。

事業成長の機会

食品市場では、恒久的な課題である品質向上や生産性の向上と安定化に加えて、「食品ロスの低減や脱プラスチック」など、持続可能な社会の実現に向けた、目に見える取り組みが求められています。

2022年度は、「さらなる品質向上による安全・安心の訴求」、「生産コストの上昇で悪化した収益性の回復」と、「生産ラインの自動化・省人化による人手不足の解消」が食品企業の課題であり、これらを目的とした設備投資に重点が置かれるとみえています。

複雑な作業と高度な判断が必要な品質検査工程には、ヒトの目や感覚に頼った検査が数多く残っています。技術革新によってこれらを代替し自動化することで、新たな検査機器の需要を生み出します。

医薬品は、食品と並ぶインライン品質保証の大市場です。医薬品の品質保証には、錠剤やカプセル、注射剤などの対象品を高精度で検査できる医薬品専用の検査機器が欠かせません。

近年は製造にかかわるすべてのデータに完全性と一貫性、そして正確性を求めるデータインテグリティへの対応が求められており、FDA*1ガイドラインやGMP*2省令に準拠した形での全数検査とプロセス管理、品質データの電子記録などの取り組みが加速しています。

アブリツは半世紀以上前から医薬品製造業のお客さまに重量選別機などの検査機器を提供しており、日本国内において豊富な実績を有しています。米国、欧州、中国およびインドなど、世界の医薬品市場に向けて、事業の拡大に取り組んでいます。

*1 FDA：アメリカ食品医薬品局

*2 GMP：Good Manufacturing Practice

品質保証の新たな挑戦を、
お客さまとともに。

総合品質管理・制御システム QUICCA
Overall Quality Management and Control System QUICCA

X線検査機
X-ray Inspection System

金属検出機
Metal Detector

オートチェック
Checkweigher

自動電子計量機
Automatic Combination Weigher

Anritsu Integrated Report 2022 33

PQA事業

GLP2023初年度の振り返りと 当期の取り組み

2021年度の取り組みと業績

世界各地でロックダウンなどの行動制限が行われた2021年度は、お客さまと当社従業員の安全を最優先としつつ、状況に応じた販売促進に取り組みました。お客さまへの訪問が難しい地域においては、オンライン展示会やウェビナー、メールマガジンなど遠隔での販売促進に注力しました。

一方、中国や北米など、お客さまとの面会が可能な地域においては、展示会への出展やお客さまの現場に実機を持ち込んでのデモンストレーションなど、より積極的なプロモーションを行いました。

その結果、北米やアジア地域などの海外市場がけん引し、受注高は年度当初の目標である230億円をクリアしました。一方、売上高は日本市場における納期の長期化の影響もあり、初年度の目標達成には至りませんでした。

開発投資と新製品

GLP2023では、新たなセンシング技術の獲得による顧客価値の創造や、医薬品市場に向けた戦略商品への投資比率を高める方針であり、戦略と製品ポートフォリオを勘案しながら継続的に開発投資を行っています。

2021年度は、新方式の高精細X線センサを採用し、これまで検査が難しかった厚みのあるものや凹凸のある対象物の高感度検査を可能にした「XR75HR Dual Energy センサ X線検査機」や、欧米畜肉市場を念頭にジェット洗浄にも耐える堅牢なボディを採用した「IP69KタイプX線検査機」を開発し



販売を開始したほか、医薬品市場に向け、最大で1時間当たり23万錠の超高速計量を実現した「KWS9002APシリーズカプセル用オートチェッカ」をリリースするなど、戦略市場に対するソリューションを強化しました。

2023年度営業利益率10%に向けた取り組み

営業利益率については、「顧客価値を追求したソリューションと医薬品市場への事業拡大による付加価値率の向上」と、「事業体制のグローバル最適化とビジネスプロセスの効率化」の両面で改善に取り組んでいます。

2021年度は、前述した新製品をはじめ、お客さまのニーズにベストマッチする製品の拡充を行いました。また事業体制のグローバル最適化とビジネスプロセスの効率化の一環として、米国シカゴの現地法人の組立検査体制を拡充し、お客さまにとって最適な一台を迅速にご提供する能力を向上させました。

しかし半導体をはじめとする部品価格や物流費の高騰、およびプロダクトミックスの影響などにより、利益率改善へのインパクトは限定的でした。

引き続きグループの経営資源を活用し、イノベーションと価値創造のスピードアップを図るとともに、事業構造改革を加速して10%以上の営業利益率を安定的に生み出す体質の獲得を目指します。

人財採用・育成

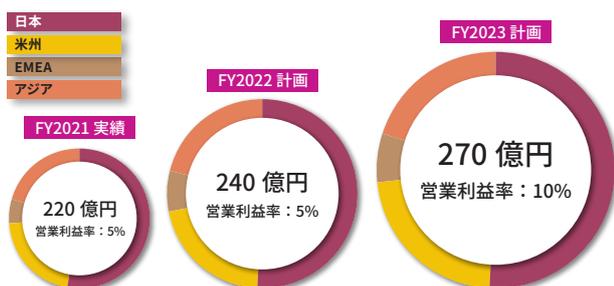
課題である非破壊センシング、人工知能、画像処理や信号処理、IoTなどの先端技術に携わる技術者を積極的に採用しています。自社開発にこだわらず社外の研究機関と広く交流する

|| PQA事業：GLP2023売上高・営業利益率計画

2022年度の取り組み

新たな需要獲得とITを活用した利益改善

- ・自動化/省力化ニーズへの対応
- ・欧米の販売力強化と現地SE対応力強化による市場拡大
- ・利益率改善に向け医薬品市場用の新製品を開発



ことで人と技術の成長を促します。また世界中のお客さまのご要望をお聴きし、最適なソリューションを提供するために、グローバルに活躍できる人財の採用と育成に取り組んでいます。

知的資本

外部団体との関わり、TOP企業との協業について

当社はPQA事業として、「(社)日本計量機器工業連合会」や「(社)日本検査機器工業会」、「(社)日本包装機械工業会」など20以上の工業会に加盟しているほか、米国では「PMMI (Packaging Machinery Manufacturers Institute)」に加盟し、お客さまや食品包装業界をリードする企業、各研究機関と連携して品質保証の課題克服に取り組んでいます。

競合と市場シェア

PQA事業の対象市場においては、米州・欧州、中国などで40社以上の競合企業が事業を行っています。

当社は日本国内の食品市場において業界トップクラスのシェアを得ており、海外市場や医薬品市場でもシェアを拡大しつつあります。当社が有する高速・高感度のセンシング技術や質の高いサービスの強みを活かし、お客さまが求める商品をどこよりも早くお届けすることで、「First-to-Call-Company」を目指してさらなる事業拡大とシェアの向上を図ります。

事業を通じて解決する社会課題

SDGsの取り組み

PQA事業は、食品や医薬品の品質保証を通じて、品質検査機器をご導入くださるお客さまとともに、SDGsの目標12「つくる責任、つかう責任」に貢献しています。

「安全で安心できる食品や医薬品の安定供給」や「品質向上による食品ロスの削減」など、PQA事業が持つ本来の社会価値に加え、製品の輸送や使用に必要なエネルギーの削減、環境にやさしい素材の採用などに取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

社会課題の解決

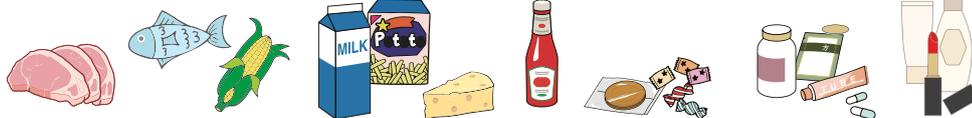


食品・医薬品の品質保証の高度化を通じて、

- ・安全で安心して暮らせる社会
- ・食品ロスの少ない持続可能な社会



お客さま



アンリツ



強み

- ・生産ライン上での高速・高感度な品質検査技術
- ・多様な食品製造環境に検査機を適応させるエンジニアリング力
- ・日本国内の充実した保守サービス体制と熟練した保守エンジニア
- ・日本国内の食品検査市場における実績とトップクラスの市場地位